

# 歴

## 史資料館だより



No.63  
教育委員会生涯学習課  
伝承館グループ  
(☎0296-23-8521)

### 「放浪貴族」という生き方 〜永瀬義郎収藏品展〜

企画展『永瀬義郎収藏品展』を、真壁伝承館歴史資料館で1月26日(火)から3月20日(日)まで開催しています。

桜川市(旧西茨城郡北那珂村入野)に生まれた版画家・永瀬義郎氏は、芸術の傍らに生きた人物です。一つの場所での生活を心行くまで楽し



真壁伝承館歴史資料館第8回企画展  
『永瀬義郎収藏品展』のポスター

を飛び級で卒業すると、茨城県立土浦中学校(現在の土浦第一高等学校)に進学、その後は東京美術大学(現在の東京藝術大学)の彫刻科に入學

しましたが、1か月ほどで通わなくなり、後に京都市立絵画専門学校(現在の京都市立芸術大学)に在籍するも、こちらも短期間しか通わなかったようです。

その後の交友で文芸雑誌『仮面』の表紙と挿絵を任された永瀬氏は、当時流行していた新劇運動に刺激されて劇団『美術劇場』を結成。また、1914(大正3)年には文部省美術展覧会(現在の「日本美術展覧会」こと「日展」)から分離した在野の美術団体による『二科展』に木版作品を出展するなど、版画を中心に据えながら多彩な芸術活動に身を置き続けました。

1929(昭和4)年に春陽会展に出品した版画『ある



永瀬氏の代表作の1つ  
『もの想う天使(A)』

日の上山草人』が春陽会展を受賞すると、その年にはパリへと拠点を移しますが、1942(昭和17)年に世界情勢の危うさから帰国。その後は関西を中心に活動をする

と、やがて自らが中心となって『日本版画会(日版会)』を創設します。そして、1973(昭和48)年に、シルクスクリーンの印刷技法を発展させ『Nagase Prints-73』を創り出した永瀬氏は、1978(昭和53)年に亡くなるまで精力的に版画の制作に打ち込んだのです。

そんな永瀬氏が没して、40年近くが経ちました。今回は、妻・照子さんから旧岩瀬町に寄贈された永瀬氏の作品を公開するとともに、その足跡を辿りたいと思います。

自由であり、優雅でもあった。そんな永瀬義郎氏の人間に少しでも触れていただければ幸いです。

歯科 小児歯科 インプラント 床矯正  
(自由診療 1歯20万円〜) (自由診療 9万円〜)  
歯科用CTあり(撮影料19,800円〜)

**やなぎだ歯科**  
YANAGIDA DENTAL CLINIC

■診療時間/午前9:00~12:30  
午後2:30~7:00  
■休日/木曜午後・土曜午後・日曜・祝日  
歯科医師 柳田佳代子 柳田充康

桜川市西飯岡539-4 坂戸小学校正門前  
http://www.yanagida-dc.com ☎0296-76-3700

**とびた歯科クリニック**

▼診察時間 来院前に、必ずご連絡ください。

曜日	月	火	水	木	金	土	日
時間						9:00 12:30	休
9:30~12:30 (受付は12:00まで)	○	○	休	○	○	○	休
14:30~19:00 (受付は18:30まで)	○	○	休	○	○	○	休

※祝日のある週は、水曜診察致します。

とびた歯科クリニック 検索